東京都告示第七百六十五号

1

形

を「常時閉鎖若しくは作動した状態にある防火設備若しくは戸の劣化」に、

「目視」を「目視等」に、「常閉防火設備等の変

「常時閉鎖若しくは」に改め、

「(以下

遮煙性能

(令第百十二条第十九項第1

一号に規定する特定防火設備又は常閉防火設備等に

改め、

同部33の項中「常時閉鎖又は」を

防火設備等」という。」)」を削り、

**扉等」を「常閉防火扉」に改め、** 

同部30の項中「目視」

を「目視等及び設計図書等」に

視」を「目視等」に改め、

同部29の項中

「防火扉又は戸」を「防火扉」に、

「常閉防火

掲げる戸に限る。以下この表において同じ。)」に改め、同部27の項及び28の項中「目

日刊 (日曜 H 土曜 H



東京都

告

76

別表二の部(1)から(4)までの項中

「目視」を「目視等」に改め、

同部(6)から(4)までの

目

次

○平成二十年東京都告示第四百四十三号 の項目等)の一部改正…………… ……(都市整備局市街地建築部建築企画課)… (東京都建築基準法施行細則による調査

## 示

項中

「目視」を「目視等」に改める。

## 告

等) -成二十年東京都告示第四百四十三号 の一部を次のように改正する (東京都建築基準法施行細則による調査の項

令和七年六月三十日

東

東京都知事 小 池 百 合 子

条第一 面するバルコニー等から通ずる直通階段から道路等に至るまでの屋外通路等の」に、 を 先の空間に面するバルコニー等から通ずる直通階段から道路等に至るまでの屋外通路 目 )」に改め、 視」を「目視等」に、 表一の部(1)の項中「目視」 「第十九条第二項」の下に「又は第四項」を加え、 項 窓先空地」に、 同部(8)の項中 の下に「又は第三項」を加え、 同部(2)の項、 「窓先空地の」を「窓先空地又は窓先の空間の」に改め、 「屋外通路等の」 「又は第二項」を「、第二項」に、 ③の項及び⑤から⑦までの項中「目視」を「目視等」に を「目視又はこれに類する方法(以下「目視等」とい を「屋外通路等、 同部9の項中「の屋外通路」の下に「又は窓 同部回の項中「又は窓先空地」 窓先の空間又は窓先の空間に 「屋外通路等に」を「屋 「第十九

> ニー等から通ずる直通階段から道路等に至るまでの屋外通路に」に改め、 「目視」 の項中「必要に応じて双眼鏡等を使用し目視」を「目視等」に改め、 |使用し目視||を「目視等」に改め、 を「目視等」に改める。 」を「目視等又は」に改め、 第二 一項に規定する窓先の空間又は第四項に規定する窓先の空間に面するバ 同部心の項中「目視」を「目視等」に改め、 同部33の項及び43の項中「必要に応じて双眼鏡等 同部(17)の 同部(2)の項中 同部 項 ル コ

応じて双眼鏡等を使用し目視により確認し」を「目視等」に改め、 眼鏡等を使用し目視により確認し」を「目視等」に改める。 に応じて双眼鏡等を使用し目視」を「目視等」に改め、 応じて双眼鏡等を使用し目視により確認し」を「目視等」に改め、 別表三の部(1)から(5)までの項中「目視」を「目視等」に改め、 「必要に応じて双眼鏡等を使用し目視」を「目視等」に改め、 同部(18)の項中「必要に応じて双 同部(7)の項中 同部(5)の項中 同部(8)の項及び(9) 同部(7)の項中 「必要に 「必要

は戸」を「限る。以下この表において同じ。)又は戸(令第百十二条第十九項第二号に を使用し目視」を「目視等」に改め、 使用し目視により確認し」を っては、」に、 までの項及び22の項中「目視」を「目視等」に改め、 応じて双眼鏡等を使用し目視」を「目視等」に改め、 別表四の部6の項中 「目視」を「目視等」に改め、 「目視」を「目視等」に改め、 「目視等」に改め、 同部27の項から34までの項いの欄中「限る。) 同部23の項中「必要に応じて双眼鏡等を 同部20の項中「必要に応じて双眼鏡等 同部23の項中「あっては」を「あ 同部(3)から(6)までの項、 同部(7)から(1)までの項中 (18)から 「必要に 又

又は に、 作動 限 のように加える 目視により確認し」 部 時閉鎖若しくは作動した状態にある防火設備又は戸の閉鎖若しくは作動の」に、 戸が閉鎖若しくは」 若しくは作動の」に、 より常時閉鎖若しくは作動した状態にある防火設備又は戸の閉鎖若しくは」 の状況」を「放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況」に、 備等が閉鎖又は」 !閉鎖若しくは作動した状態にある防火設備又は戸の閉鎖若しくは」に、 放置されていることにより常閉防火設備等の閉鎖又は」を (34)る。 戸 0) 「目視」 が 項中 \_\_ を に改め、 を 「各階の主要な常時閉鎖若しくは作動した状態にある防火設備又は戸 「常閉防火扉等の固定」 を 「若しくは遮煙性能」 「目視等」に、 を を に改め、 同部36の項を削り、 「各階の主要な常時閉鎖若しくは作動した状態にある防火設備又は 「各階の主要な常閉防火設備等の閉鎖又は」を「各階の主要な常 目視等」 同部(33)の項中 「常閉防火扉等が」を「常時閉鎖した状態にある防火扉 に改め、 を に改 「常時閉鎖した状態にある防火扉又は戸 同部(35)の項中 め 同項を同部36の項とし、 「常閉防火設備等の閉鎖又は作動の」 同 部 (32) の 項中 「必要に応じて双眼鏡等を使用 「常閉防火設備等の閉鎖又は 「放置されていること等に 「目視」を「目視等」に、 同部34の項の次に次 「常閉防火設 に改め、 の固定」 の閉鎖 を「常

(35)状況の取付け した状態にな常時閉鎖 ある防火扉 各階の主要 した状態にな常時閉鎖 する。 により確認 等又は触診 状況を目視 の取付けの ある防火扉 各階の主要 の取付けがある防火扉 した状態にな常時閉鎖 ح ع 堅固でな

0 鏡等を使用し目視」 に応じて双眼鏡等を使用 項を同部47の項とし、 (42)(自然換気設備に限る。 表四 0) 項を同部 の部 (37) の項中 (44)0 を「目視等」 項とし、 目視」 同部45の項を同部46の項とし、 し目視」 同 を加え、 を 部 を「目視等」に改め、 に改め、 (41)目 0) 1視等」 項 同項を同部45 を 同項を同部49の項とし、 同 に改め、 部 似の項とし、 同 部 (48) 0 河とし、 同項を同部48の項とし、 同 部 (44) の項中 同 の項中 部 (40) 同部43の項を削り、 同部47の項中 「必要に応じて双眼 0 項中 「状況」 Ħ の下に 同 部 (46) 視 「必要 を 同

> 「目視」 視等」 に改め、 を 「目視等」 同 「項を同じ に改め、 部(42) の項と 同項の次に次のように加える į 同部 (39)0 項を同じ 部 (41) の項と Ļ

> > 同

部 (38)

0

項

中

目

(40)	(39)
	備クス規二号第八示交六備クス ラプ定号又一十第通年(ラプ ーリすニは第四二省国令ーリ 設ンるに第一号百告土和設ン
傷 劣 ラ ス プ	設 ラ ス プ の
りることで認録には、 とで認録には、 とで認録には、 とで認録には、 とで認録には、 とで認いた。	ることでは こと確認は ではは では では では では では では では では
ること (で 著しい )で (で ましい )で (で )で )が 。 (で )で )が 。 (で )で )で )で )が 。	るにし災況のとてが必要の にし災況周又い設要なたい。 では感はのはない。 で散知りの設いさでは感 が散知りの。 が大者火状備これ備に散知

況 る避難経路 别 に改め、 表五 *(*) 下に を 元の部 「バルコニー及び避難上有効なバルコニーから直通階段まで安全に避難でき (条例第十九条第三 及び器具等から直通階段まで安全に避難できる避難経路 同部(9)の項及び(10)の項中 (4)から(7)までの項中 二項を適用するものに限る。 「目視」 「目視」 を 「目視等」 を 「目視等」 に改 に改め、 のに、 め 同部 同 0) 「目視」 (8) 確保 部 (11) の項中 の状況 の項中 を 目 ル 条 一状 視 コ

項を同部33の項とし、 同部 項及び42の項を削る。 項を同部30の項とし、 視等」に改め、 での項及び22の項中「目視」を「目視等」に改め、同部23の項を削り、 例第十九条第三項を適用するものに限る。)」 「目視」を「目視等」に改め、同項を同部27の項とし、 ||目視||を「目視等| 「目視」を「目視等」に改め、 を「目視等」に改め、 同部36の項を削り、 視」を「目視等」に改め、同項を同部23の項とし、 (12)の項、 同部38の項中「目視」を「目視等」に改め、同項を同部34の項とし、 同部40の項中 (13) の 項、 同項を同部24の項とし、 同項を同部29の項とし、 に、 同部35の項中「目視」を「目視等」に改め、 同部34の項中 15の項及び16の項中「目視」を「目視等」に改め、 「目視」を「目視等」に改め、 同部37の項中「目視」を「目視等」に改め、 同項を同部26の項とし、同部28の項を削り、 設計図書」を「及び設計図書」に改め、 同項を同部28の項とし、同部33の項中「目視」を「目 「単に」を削り、 同部26の項を同部25の項とし、 同部33の項中「目視」を を加え、 同項を同部35の項とし、 「目視」を「目視等」に改め、 同部30の項を削り、 同部25の項中「目視」を「目視 「目視」 を「目視等」 「目視等」に改め、 同項を同部32の項と 同項を同部33の項 同部27の項中 同部(18)から(20)ま 同部24の項中 同部29の項 同部(7)の項中 同部(39)の項 同部(31)の項 同 部 (41) に改め、 同

用し目視」を「目視等」に改める。中「目視」を「目視等」に改め、同部ધからはまでの項中「必要に応じて双眼鏡等を使用し目視」を「目視等」に改め、同部はの項及びはの項中「必要に応じて双眼鏡等を使用し目視」を「目視等」に改め、同部はの項及びはの項別表六の部6の項及び8の項中「目視」を「目視等」に改め、同部9の項及び10の項

○ 京記様代やの1中「窓先空地の」や「窓先空地又は窓先の空間の」以、「屋外通路の」や「屋外通路又は窓先の空間に面するバルコニー等から通ずる直通階段から道路等に至るまでの屋外通路の」以、「窓先空地又は」や「窓先空地、」以、「屋外通路等」や「屋外通路等、窓先の空間又は窓先の空間に面するバルコニー等から通ずる直通階段から道路等に至るまでの屋外通路等」以おるる。

別記様式その3中

3

(44)	(43)	(42)		(40)	(39)	(38)	(37)	(36)	(35)	(34)	(33)	(32)	(31)	(30)	(29)	(28)	(27)			
	)) )) )) )) ()) ()) ()) ())											区画に対応した防火設化 産のかお記 居立のお記 居立のお記 居立のお記 展その他の通路に設置 (株況 昭和48年建設省告示第2 1 号口に規定する基準 その他これらに類するものに限る。) 別火源又は戸の開放方向 で知傷の状況 常閉防火設備等の閉鎖 記 常閉防火設備等の閉鎖 に対象の表体 で知傷の大記 常閉防火設備等の閉鎖 に対象の状況 常閉防火設備等の閉鎖 に対象の状況 常閉防火設備等の閉鎖 に対象の状況								
換気の妨げとなる物品の放置の状況	換気設備の作動の状況	換気設備の設直の状況			採光のための関口部の面積の確保の 状況	警報設備の劣化及び損傷の状況	警報設備の設置の状況	防火設備又は戸の閉鎖の障害となる 照明器具、懸垂物等の状況	照明器具、懸垂物等の落下防止対策の 状況	常閉防火扉等の固定の状況	常閉防火設備等の閉鎖又は作動の障 害となる物品の放置の状況	常閉防火設備等の閉鎖又は作動の状 況	常閉防火設備等の本体と枠の劣化及 び損傷の状況	防火扉又は戸の開放方向	昭和48年建設省告示第2563号第1第 1号ロに規定する基準への適合の状 況	居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備又は戸におけるくぐり戸の設置の状況	区画に対応した防火設備又は戸の設 置の状況			

を

り W E U	改め、「「」		
を	改 め る。 (45) (43) 部	(41) (40) (38) (38) (39) (39) (39) (39) (39) (39) (39) (39	(32) (31) (32) (32) (33) (33) (34) (35) (35) (35) (35) (35) (35) (35) (35
「(45)   (45)   (46)   (47)   (47)   (47)   (47)   (48)   (47)   (48)	探光の旅光及で検気 探光の旅げとなる物品の旅間の状況	田路具及び懸垂物等の状況	区画に対応した防火設備又は戸の設置の状況    図画に対応した防火設備以は戸の設置の状況    居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備又は戸におけるくり戸の設置の状況   1号口に規定する基準への適合の状況   1号口に規定する表に表にある防火設備又は戸の第四は表にある防火設備又は戸の第四は表に表した状態にある防火設備又は戸の関例ましくは作動の形況   1号に限る。以下この表において同一日日の主要なが時間数据しくは作動の形況   1号に限る。以下この表において同一日日の主要なが時間数据しくは作動の形況   1号に限る。以下この表において同一日日の主要なが時間数据しくは作動の形況   1号に限る表に表に表した状態にある防火設備又は戸の関数者しくは作動の形式を指する場合に対策に表した状態にある方防火設備又は戸の関数者とは存むの形式を表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に
上有効なバルコニーの確保」や から直通階段まで安全に避難で から直通階段まで安全に避難で から直通階段まで安全に避難に			
ニーの確保」 で安全に避難 で安全に避難器具			
-の確保」を で全に選嫌で で全に選業で で全に選業で		1.5	
う 4k う を		に 	
(39) (41) (41) (42) (30) (31) その他 (33) 解 (33)	(32) (33) (34) (35) (36) その他 (37) 撃 (38)	り 別記様 ***********************************	できる。 「(21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) 排標度 (29) 備等 (29) 備等
非常用の照明装置 非常用の進入口等 非常用の進入口等	非常用の進入口等  事常用エレベーター	(22) (23) (24) (26) 神種型 (27) 音樂 (28) 神種型 (27) 音樂 (28) 神種型 (27) 音樂 (28) 神種型 (28) 神種型 (28) 神種型 (28) 神種型 (28) 神種型 (27) 音樂 (28) 神種型 (28) 神種型 (27) 音樂 (28)	発路の確保の状況特別避難階段 特別避難階段 排煙設備
非常用エレベーターの作動の状況 非常用の照明装置の設置の状況 非常用の照明装置の設置の状況 照明の妨げとなる物品の放置の状況 照明の妨げとなる物品の放置の状況 解析の進入口等の維持保全の状況 非常用の進入口等の維持保全の状況 操際ロビー等の排煙設備の設置の状況 乗際ロビー等の付室の外気に向かっ で開くことができる窓の状況 物品の放置の状況 特品の放置の状況 特別の放置の状況	非常用の進入口等の設置の状況 非常用の進入口等の維持保全の状況 乗降ロど一の構造及び面積の確保の 状況 現降ロど一等の排煙設備の設置の状 況 現際ロど一等の排煙設備の作動の状 況 乗降ロど一等の排煙設備の作動の状 元 元 一等の付電の外気に向かっ で開くことができる窓の状況 物品の設置の状況	の確保の状況 付室等の非理設備の設置の状況 付室等の外気に向かって関くことが できる窓の状況 物品の放置の状況 物品の放置の状況 防護区画の設置の状況 防護医画の設置の状況 財産回の設置の状況 財産のが北及び報傷の状況 排産口の維持保全の状況	<ul> <li>さる避難経路の確保の状況(条例第19条第3項を適用するものに限る。</li> <li>(21)</li></ul>
			60に限る。) 」に、
に 改	を	に 改	<b>*</b>

5 令和7年6月30日(月曜日) 東 (増刊 76) める。 不要です」ப、「記入しなくても構いません」や「記入不要です」ப、 **置」を「防火設備(防火ダンパーや緊へ。)の設置」に改める。** この告示は、令和七年七月一日から施行する。 別記様式その6別添1中「孫付し」を「孫付し、防火区画」に、 別記様式その6中「特定建築物」を「建築物」に、「削除して構いません」を「記入 (27)から(35)まで (27)から(34)まで | 防火設備又は戸 (13)から(25)まで (32)から(42)まで (41)から(45)まで (26)から(31)まで (46)から(49)まで (39)から(44)まで (45)から(48)まで (39) 及び(40) (37) 及び(38) (37) 及び(38) (35) 及び(36) 附 則 石綿等を添加した建築材料 居室の採光及び換気 防火設備又は戸 居室の採光及び換気 警報設備 照明器具、 警報設備 照明器具、 石綿等を添加した建築材料 スプリンクラー設備 を (13)から(24)まで (29)から(35)まで (25)から(28)まで 懸垂物等 懸垂物等 に改める。 に、 を 「防火設備の設

	(増刊	76)	東	京	都	公	報	令和7年6月	30日	(月曜日)	6
	( HTV			-						, BH,	J
発   電話   ○三(五三二一)   一一一一(代)   郵京都新宿区西新宿二丁目八番一号   番の3-8001											
定 価											
一木											
(郵送料を含む。)  印   電話 ○三(三八一二)五二○一(代)   郵118日 六、六○○円   刷   東京都文京区白山一丁目十三番七号   番00号   一一一一一一一一一一一一一一一一一一一											
FSC 570 C0006270											